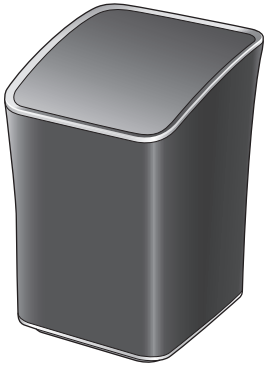
Panasonic

取扱説明書　＜活用ガイド＞
ワイヤレススピーカーシステム

品番 SC-ALL2



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（付属冊子「取扱説明書」）を必ずお読みください。**

RQT0A26-2S

目次

付属品 **4**
本機のお手入れ **5**
廃棄 / 譲渡するとき **6**
各部の名前と働き **7**
ネットワーク接続ランプの表示 **8**
接続のしかた **9**
外部機器との接続のしかた 9
ネットワークに接続する **11**
インターネットブラウザを使って接続する 12
WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使って接続する 16
LAN ケーブルを使って接続する 18
詳細な接続設定を行う（必要な場合のみ） 19
ネットワークの音楽を楽しむ **20**
ネットワーク接続した機器の音楽を再生する 20
配信サービスの音楽を再生する 23
複数のスピーカーで音楽を楽しむ 24
放送局を記憶させる （インターネットラジオアプリのみ） 26
Bluetooth® を楽しむ **27**
Bluetooth® メニューで登録・接続する 27
Bluetooth® スタンバイを設定する 29
Bluetooth® の通信モードを切り換える 30
Bluetooth® の音量レベルを調整する 31
外部機器の音声を聴く **32**
ファームウェアを更新する **33**

便利な機能 **34**
時計を表示する 34
時計表示を変更する 35
表示窓の表示を切り換える 36
ディマー機能 36
自動的に電源を切る（オートオフ） 37
アラーム（おめざめタイマー）/ おやすみタイマー 38
操作音を設定する 40
ネットワーク接続の信号レベルを確認する 40
割り当てられた IP/MAC アドレスを確認する 41
故障かな !? **42**
共通 42
Bluetooth® 44
ファームウェア更新 45
ネットワーク 45
こんな表示が出たら 46
仕様 **47**
さくいん **52**

本機のサポート情報について
ファームウェアの更新など、最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

本書内の表現について

クリックまたはタップすると「目次」ページへ移動します。

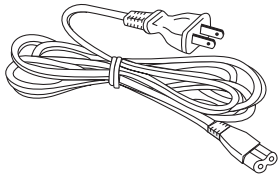
- 本書内で参照していただくページを（➜ ○○）で示しています。クリックまたはタップするとそのページに移動します。

付属品

付属品をご確認ください。

電源コード（1 本）

(K2CA2YY00269)



お知らせ

- 付属品の品番は、2015 年 5 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
  また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

http://jp.store.panasonic.com/
パナソニックグループのショッピングサイト

Panasonic Store

本機のお手入れ

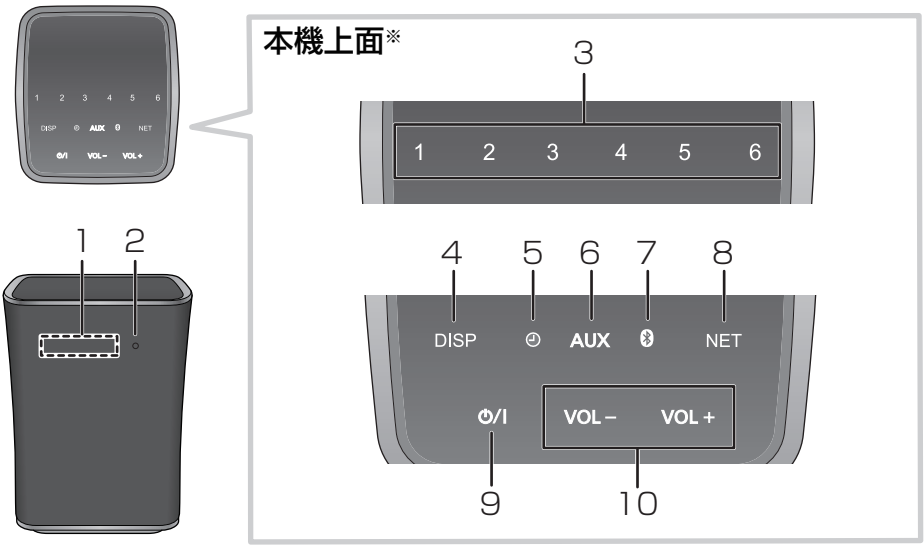
電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。
  （➜ 42、「本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには」）
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

各部の名前と働き



1 表示窓

2 ネットワーク接続ランプ（➜ 8）

3 [1]～[6]（点灯・点滅機能なし）
- インターネットラジオのチャンネルを選ぶ（➜ 26）
（タッチしたままにすると、インターネットラジオのチャンネルを記憶させることができます）

4 [DISP]
- 表示を切り換える（➜ 36）
（タッチしたままにすると、ディマー機能モードへ切り換わります）
- 時計を表示する（➜ 35）

5 [🕘]
- アラームを設定する / 切る（➜ 38）

6 [AUX]
- AUX（外部機器）モードへ切り換える（➜ 32）

7 [ ]
- Bluetooth® を音源に選ぶ（➜ 27）
- Bluetooth® 機器とペアリングする
- Bluetooth® 機器との接続を解除する（➜ 28）

8 [NET]
- ネットワークモードへ切り換える
- WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使って接続する（➜ 16）
- ファームウェアを更新する（➜ 33）

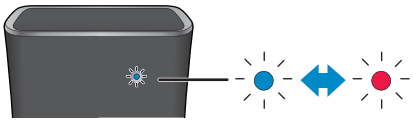
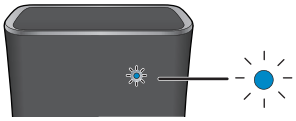
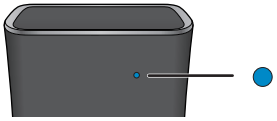
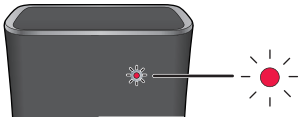
9 [⏻/I]
- 電源を入 / 切する

10 [VOL–]/[VOL +]
- 音量を調節する : 0(最小)～50(最大)

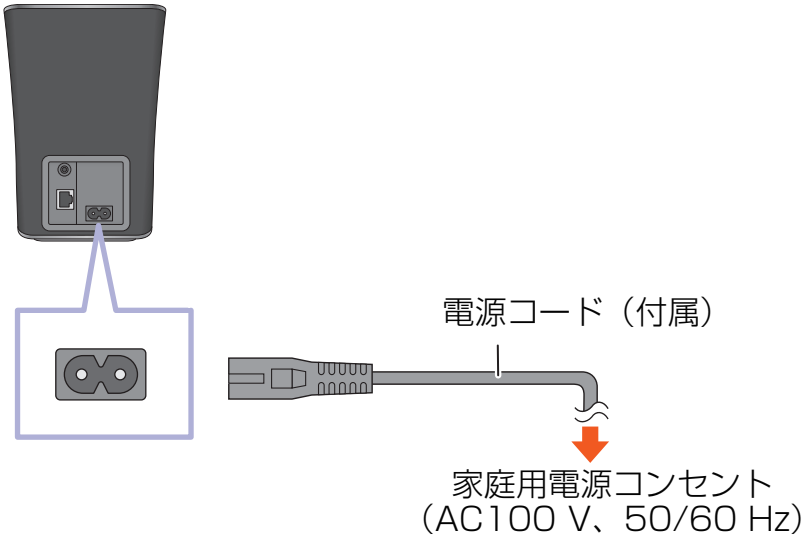
※ 本機上面のタッチキーはタッチ方式を採用しているため、触れるだけで働きます。タッチキーに触れると操作音が鳴ります。操作音が鳴らないように設定することができます。（➜ 40）

ネットワーク接続ランプの表示

ネットワーク接続ランプの状態に応じて、以下の項目をご確認ください。

ネットワーク接続ランプ	状態
表示：青 / 赤 	**交互に点滅する** ● 本機が内部で動作処理をしています。 – 点滅が止まるまで約 1 分間お待ちください。 – 故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
表示：青 	**ゆっくり点滅する** ● 本機のネットワーク設定が可能です。（➜ 11） **点滅する** ● 本機が接続待機中（WPS ボタン方式）です。（➜ 16） **速く点滅する** ● 本機が接続待機中（WPS PIN コード方式）です。（➜ 16）
表示：青 	**点灯する** ● 本機がネットワークに接続しています。
表示：赤 	**点滅する** ● 本機がネットワーク接続の処理中です。 – ネットワーク接続が完了できない場合、点滅し続けます。ネットワークの接続を確かめてください。（➜ 11）

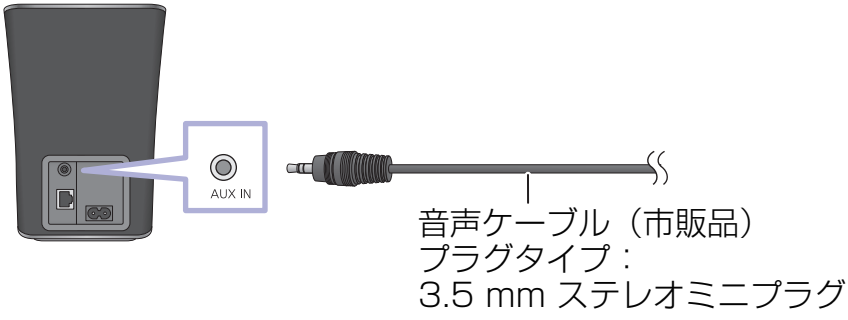
接続のしかた



お知らせ

- 本機の電源入の状態では、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。

外部機器との接続のしかた



お知らせ

- 詳しくは外部機器の説明書をご覧ください。

■ 長期間使用しないときは

電源を切った状態でも電力を消費しています。(➜ 47) 節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。
時計を設定しているときは、再設定が必要になります。(➜ 34)

■ よりよい音響効果を得るために

音は置きかたによって変わります。
下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- 平らで安定した場所に設置する
- スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- 左右は壁から離す
- 硬い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて音の反射を少なくする
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する

■ 本機（スピーカー）について

- 本機は防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります）

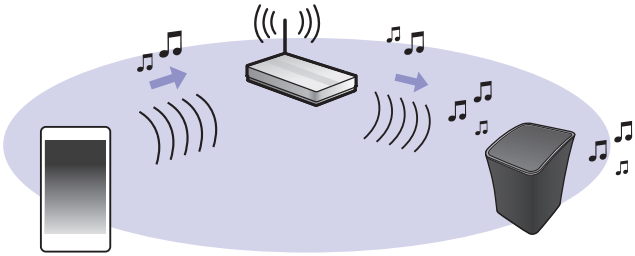
音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続することにより、Qualcomm® AllPlay™ や DLNA 機能を利用して外部機器にある音楽などを本機からお楽しみいただけます。
Qualcomm® AllPlay™ smart media platform は、Qualcomm Connected Experiences, Inc. の製品です。
- ネットワーク設定が完了したら本機のファームウェアを更新してください。（➜ 33）



ネットワーク接続方法を以下から選んでください。

「インターネットブラウザを使って接続する」（➜ 12）
- スマートフォンやパソコンのインターネットブラウザから本機のネットワーク設定をすることができます。

「WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使って接続する」（➜ 16）
- お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS に対応している場合、WPS ボタンを押すか、PIN コードを入力することで本機と無線 LAN 接続することができます。

「LAN ケーブルを使って接続する」（➜ 18）
- 有線 LAN 接続をすることで、安定した再生を行うことができます。

お知らせ
- ネットワーク設定は、時間がかかると中止されることがあります。その場合、設定をやり直してください。無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには [⏻/I] をタッチしてください。
- 本機は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯で使用することができます。ネットワークへの接続は、802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）のブロードバンドルーターの使用をお勧めします。

インターネットブラウザを使って接続する

IOS 機器、Android™ 機器、パソコンなどから直接本機に接続し、ネットワーク名（SSID ※1）、パスワードなどのネットワーク設定を行います。

- 説明にはスマートフォンを使用しています
- LAN ケーブルを取り外してください

（LAN ケーブルを接続したままだと、Wi-Fi® 機能が無効になります）

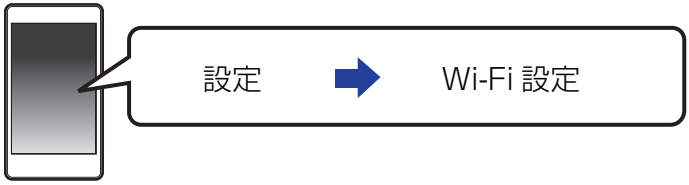
※1: SSID：無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合通信可能になります。

1 [⏻/I] をタッチし、電源を入れる

2 接続機器の「設定」から Wi-Fi 設定画面を開く

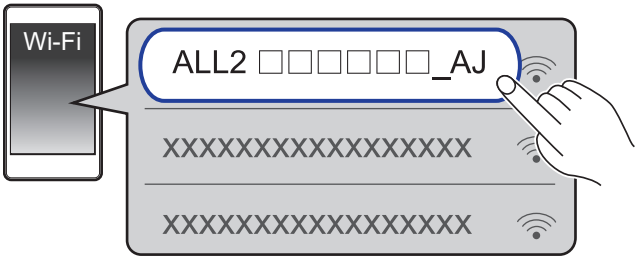
- ネットワーク接続ランプが、青色と赤色の交互に点滅します。青色のゆっくりとした点滅に変わってから、次の手順へ進んでください。※2

※2: 青色のみの点滅は約 1 分後に始まります。青色のみの点滅が始まらない場合は、ネットワークリセットを行ってください。（➜ 15）



3「ALL2 □□□□□□_AJ」を選び、本機と接続する

- 「□」は機器によって表示される固有の番号を表しています。
- 機器によっては「ALL2 □□□□□□_AJ」が Wi-Fi ネットワークリストに表示されるまでに 1 分ほどかかる場合があります。
- 接続できない場合は、1 分ほど待ってから再度選んでください。
- 接続機器の DHCP が有効になっていることを確認してください。



iOS 機器の場合：インターネットブラウザにネットワーク設定画面が自動で表示されます。
iOS 機器以外の場合：インターネットブラウザを開き、画面を更新してネットワーク設定ページを表示してください。

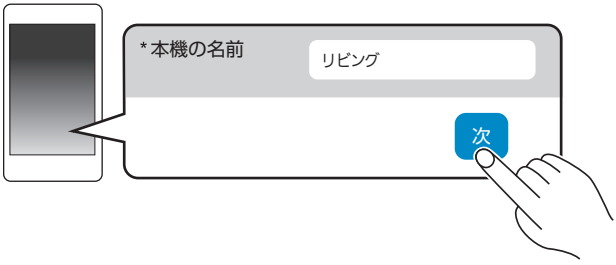
- ネットワーク設定ページが表示されない場合は、アドレス欄に下記の URL を入力してください。
  http://172.19.42.1/

4「 」を選択して、言語欄から「日本語」を選ぶ

- 表示画面の言語が日本語に切り換わります。

5 ネットワーク上で識別できるように本機に名前をつけ、「次」を選ぶ

- 入力した名前は本機の名前としてネットワーク上に表示されます。
- 設定した名前は 32 文字まで正しく表示されます。
- 名前は「次」を選択したときに設定されます。
- 設定した名前はネットワーク設定完了後に変更することができます。（➜ 19）

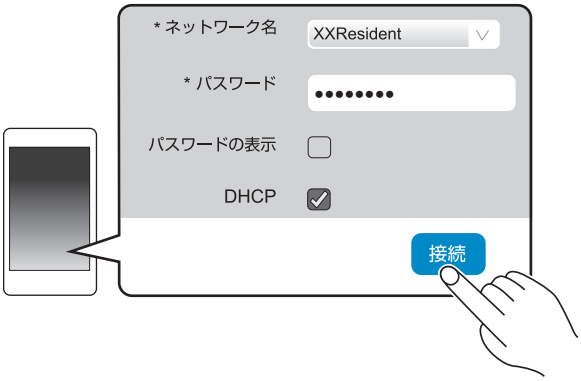


6 接続するルーターのネットワーク名（SSID）を選び、パスワードを入力する

- 接続するルーターのネットワーク名（SSID）、パスワードを確認してください。
- SSID やパスワードはルーターの背面に記載されていることもあります。詳しくはルーターの説明書などをご覧ください。
- 「ネットワーク名」欄を選ぶとネットワーク名の一覧が表示されます。
- 「パスワード」欄の入力文字を表示するには、「パスワードの表示」を選んでください。
- ネットワークの詳細設定が必要な場合は、DHCP を無効にしてください。
  –IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などの設定をすることができます。

7 「接続」を選び、ネットワーク設定を終了する

- 接続が完了すると、ネットワーク接続ランプ（青）が点灯します。
- 機器によっては接続完了画面が表示されないことがあります。



ネットワーク接続ランプが点灯しない場合、接続するルーターのネットワーク名（SSID）とパスワードを確認し、再度設定を行ってください。

8 手順 3 で設定した接続機器の接続先が元の接続先（ご利用中の SSID）に戻っているか確認する

お知らせ

- ブラウザの設定で、Java Script と Cookie を有効にしてください。
- パスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

■ ネットワークスタンバイを設定する

この機能を有効にしていると、本機が電源切状態でもネットワーク接続機器用のスピーカーとして待機し、ネットワーク接続機器をご使用のときに自動的に電源が入ります。

- 本機がネットワークに接続されている間、ネットワークスタンバイは通常有効になります。
- ネットワークスタンバイが有効なときは待機時消費電力が増えます。待機時消費電力を抑えるには、ネットワークスタンバイを解除してください。

ネットワークスタンバイを解除するには

1 [NET] と [2] を 4 秒以上タッチしたままにする
- 表示窓に「On」が点滅表示されます。

2 [VOL–] または [VOL +] をタッチして、「OFF」を選ぶ

3 [DISP] をタッチして、設定を決定する
- 本機がネットワークに接続されていて、セレクターが「NET」のときに本機の電源を切った場合、ネットワークスタンバイは有効になります。ネットワークスタンバイを無効にするには、「NET」以外のセレクターにして電源を切ってください。

お知らせ

- ネットワークスタンバイを有効にするには、上記の手順 2 で「On」を選んでください。
- ネットワークスタンバイが有効の場合、本機の電源が切の状態でもネットワーク（有線 LAN/Wi-Fi）に接続されています。
  – 待機時消費電力は増えます。
- ネットワークスタンバイが無効の場合、本機の電源が切の状態ではネットワーク（有線 LAN/Wi-Fi）に接続されません。
  – 本機の電源が入になると、ネットワーク（有線 LAN/Wi-Fi）に接続されます。（ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください）
  – 待機時消費電力は減ります。
- ネットワークスタンバイにより自動的に本機の電源が入ったとき、曲の最初の部分が再生されない場合があります。
- アプリによってネットワークスタンバイの動作が異なります。
- 本機を接続機器のスピーカーに選んでも電源が入らない場合は、接続機器で再生を始めてください。
- アラームが設定されている場合、ネットワークスタンバイが有効になります。（➜ 38）

■ ネットワークリセット

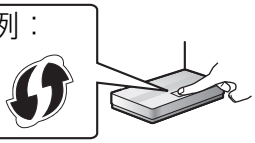
1 [NET] と [1] を 4 秒以上タッチしたままにする
- 表示窓に「-- --」が点滅し始めます。

2 10 秒以内に [NET] をタッチする
- ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅し始めます。

WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使って接続する

- LAN ケーブルを取り外してください
  （LAN ケーブルを接続したままだと、Wi-Fi 機能が無効になります）

例：



WPS 方式に対応している無線ブロードバンドルーターには WPS マークがあります。

1 [⏻/I] をタッチし、電源を入れる

- ネットワーク接続ランプが、青色と赤色の交互に点滅します。青色のゆっくりとした点滅に変わってから、次の手順へ進んでください。※

※青色のみの点滅は約 1 分後に始まります。青色のみの点滅が始まらない場合は、ネットワークリセットを行ってください。（➜ 15）

2 [NET] を 4 秒以上タッチしたままにする

- ネットワーク接続ランプ（青）が速く点滅し、表示窓に「PUSH」が表示されます。

3 無線ブロードバンドルーターの WPS ボタンを押す

- 接続が完了すると、ネットワーク接続ランプ（青）が点灯します。

■PIN コード方式のとき

上記の手順 2 のあと

3 再度 [NET] を 4 秒以上タッチしたままにする

- ネットワーク接続ランプ（青）がさらに速く点滅し、表示窓に「PIn」が表示されます。

4 パソコンなどからルーターに接続し、PIN コード「64428147」を入力する

- 接続が完了すると、ネットワーク接続ランプ（青）が点灯します。

お知らせ

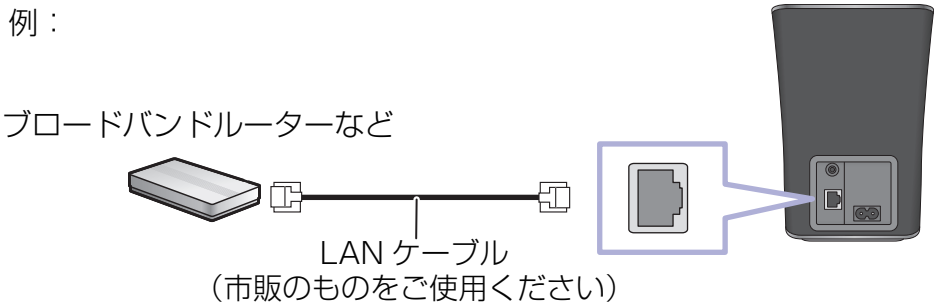
- 一度「WPS PIN」モードに移行すると、WPS ボタンでの設定ができなくなります。WPS ボタンを押して接続する場合は、本機の電源を切 / 入してから設定をやり直してください。
- 無線ブロードバンドルーターによっては他の無線機器の接続が一時的に切断されることがあります。
- 無線ブロードバンドルーターの使い方など詳細については、ルーターの説明書をご覧ください。

LAN ケーブルを使って接続する

1 本機の電源コードを抜く

2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する

例：



3 本機に電源コードを接続し、[⏻/I] をタッチして電源を入れる

- 接続が完了すると、ネットワーク接続ランプ（青）が点灯します。

お知らせ

- カテゴリー 5（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- LAN ケーブルを取り外すと、ネットワーク設定（➜ 19）が初期化されます。その場合は設定をやり直してください。
- LAN ケーブルを接続すると、Wi-Fi 機能が無効になります。

詳細な接続設定を行う（必要な場合のみ）

AllPlay や DLNA 機能使用時に表示される本機の名前（デバイス名）を変更できます。
お使いのネットワークで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などに特別な設定を行っている場合、それぞれを設定できます。

本機の名前はアプリ「Panasonic Music Streaming」（バージョン 2.0.8 以降）の設定からも変更することができます。アプリの詳細については、下記のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/app

準備する
- 本機をネットワークに接続する（➜ 11）

1 接続機器（パソコンなど）を本機と同じネットワークに接続する

2 本機に割り当てられた IP アドレス（➜ 41）を確かめてメモしておく

3 接続機器（パソコンなど）でインターネットブラウザを開き、アドレス欄に本機の IP アドレスを入力する
- 設定画面が表示されます。環境により、ブラウザに設定画面が表示可能になるまでに数分かかる場合があります。その場合再読み込みを行ってください。
- 接続機器（パソコンなど）を無線 LAN 接続している場合、本機の名前のみ変更することができます。設定の変更を行ったあと、設定画面を閉じてください。
  – 本機の名前を変更するには、「変更」を選び新しい名前を入力してから「適用」を選択してください。

4 ネットワーク上で識別できるように本機に名前をつけ、「次」を選ぶ
- 入力する機器名の詳細については、「インターネットブラウザを使って接続する」の手順 5 （➜ 13）を参照してください。

5 設定画面の各項目を入力する
- ネットワークの詳細設定が必要な場合は、DHCP を無効にしてください。
  – IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などの設定をすることができます。

6「接続」を選び設定を終了する
- 接続が完了すると、ネットワーク接続ランプ（青）が点灯します。

ネットワークの音楽を楽しむ

ネットワーク接続している機器にある音楽やオンラインで配信されている音楽などを本機や他の AllPlay 対応スピーカーからお楽しみいただけます。
また、本機の音源を他の AllPlay 対応スピーカーからお楽しみいただけます。

ネットワーク接続した機器の音楽を再生する

AllPlay や DLNA 機能を利用して、スマートフォンやパソコンなどの音楽を「Panasonic Music Streaming」（無料）などのアプリを使って本機から再生することができます。

例：Panasonic Music Streaming
- iOS 機器：App Store
- Android 機器：Google Play™

「Panasonic Music Streaming」アプリの操作方法や表示などは変更される場合があります。
詳細については下記のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/app
その他のアプリについては下記のサイトをご覧ください。
http://www.panasonic.com/global/consumer/homeav/allseries/service/

準備する
- 本機をネットワークに接続する（➜ 11）
- 下記の機器を本機と同じネットワークに接続する
  – 「Panasonic Music Streaming」などのアプリをインストールした機器
  – 音楽ファイルが保存してある機器

説明には「Panasonic Music Streaming」アプリを使用しています。

1 [⏻/I] をタッチし、電源を入れる

- ネットワーク接続ランプ（青）が点灯していることを確認してください。
  – ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください。

2「Panasonic Music Streaming」アプリを起動する

- アプリは常に最新バージョンをお使いください。

3 再生する音源を選択する

- 再生する音源を追加するには「+ ネットワーク上のソース」を選んで、音源となる機器を選択してください。
  – 追加された音源は 1 から順に番号付けされます。

4 再生する曲を選択する

5「Select Speaker」で本機を選ぶ

例：

- 複数の AllPlay 対応スピーカーをお使いの場合は、各スピーカーから同時に音を出すことができます（グループ再生）。「GROUP」を選んでグループ再生するスピーカーを選んでください。
  – 本機はモノラルで出力されます。
  – 2台以上のスピーカーを組み合わせることにより、それぞれ右チャンネル・左チャンネルに設定し、ステレオで組み合わせることができます。
  – 個別のAllPlay対応スピーカーから別々の曲を同時に再生することもできます。
  – 同時に再生できるAllPlay対応スピーカーの数は使用環境によって異なります。
  – ひとつの AllPlay 対応スピーカーの電源を切ると、同じグループ内の他の AllPlay 対応スピーカーも再生を停止する場合があります。

■ よりよい音声を楽しむ

「Panasonic Music Streaming」アプリを使って、以下の音声機能を使うことができます。

- イコライザー
- 明瞭ボイス

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Panasonic ALL2」と表示されます。
- DLNA サーバー（Windows 7 以降を搭載したパソコンやスマートフォンなど）の音楽を再生する場合は、Windows Media® Player やスマートフォンなどのライブラリにコンテンツやフォルダを追加してください。
  – Windows Media® Player のプレイリストからは、ライブラリに保存されたコンテンツしか再生できません。
- 本機が DLNA のスピーカーに選択された場合（🔊）：
  – 本機の [VOL−] や [VOL +] ではアプリ画面の音量が調節できないことがあります。
  – 接続機器の再生画面に表示される再生コントロールバーで操作できない場合があります。
  – AllPlay 対応スピーカーで設定されていた音量は適用されません。
  – 他の機器で本機をスピーカーに選び直したときに、音源は新しく接続した機器に切り換わりますが、それまで接続していた機器が再生画面を表示し続ける場合があります。
- 本機が対応しているファイル形式については、「対応フォーマット」（➜ 48、49）を確認してください。
  – お使いの DLNA サーバーが対応していない形式のファイルは再生できません。
- コンテンツや接続機器によっては、再生できないことがあります。
- 電源を切るときは再生を停止してください。

配信サービスの音楽を再生する

本機はいくつかの音楽配信サービスに対応しています。
動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。
http://www.panasonic.com/global/consumer/homeav/allseries/service/

準備する
- 対応アプリがインストールされた機器を本機と同じネットワークに接続する（インターネットにつながったネットワークに接続してください）

1 [⏻/I] をタッチし、電源を入れる
- ネットワーク接続ランプ（青）が点灯していることを確認してください。
  – ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください。

2 接続機器でアプリを起動し、再生する曲や放送局などを選ぶ

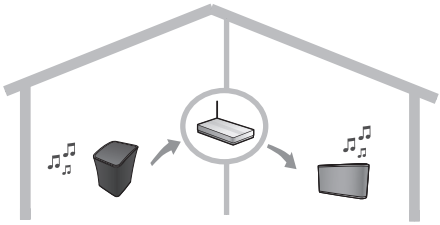
3「((▶))」から本機をスピーカーに選ぶ
- サービスによっては全画面表示にしないと「((▶))」が表示されない場合があります。
- 複数の AllPlay 対応スピーカーをお使いの場合は、同時再生をお楽しみいただけます。「Group」からグループ再生するスピーカーを選んでください。

お知らせ
- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Panasonic ALL2」と表示されます。
- 音楽配信サービスを利用する場合は、登録 / 加入が必要な場合があります。
- 音楽配信サービスを利用する場合は、使用料金が発生する場合があります。
- 提供サービス、アイコンや仕様は変更されることがあります。
- 詳しくは各音楽配信サービスのホームページをご覧ください。

複数のスピーカーで音楽を楽しむ

「Panasonic Music Streaming」アプリ （➔ 20）を使って本機の音源（Bluetooth®/ 外部音声入力など）を他の AllPlay 対応スピーカーから出すことができます。

例：



準備する
- 本機をネットワークに接続する（➔ 11）
- 本機で再生できる音源を用意する (接続機器の電源を入れるなど)
- 「Panasonic Music Streaming」アプリをインストールした機器と AllPlay 対応スピーカーを本機と同じネットワークに接続する

1 [⏻/I] をタッチし、電源を入れる

- ネットワーク接続ランプ（青）が点灯していることを確認してください。
  – ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください。

2「Panasonic Music Streaming」アプリを起動する

- アプリは常に最新バージョンをお使いください。

3「Music Source」から再生する音源を選ぶ

- 接続機器に再生可能な音源のリストが表示されます。

4 選択した音源から再生する音楽などを選ぶ

- 接続機器が本機から音源の情報を読み取ります。
- 本機の音源が切り換わります。
- 音源によっては自動的に再生が始まります。再生リストが接続機器に表示されたら、再生する曲を選んでください。

5 本機の音楽を AllPlay 対応スピーカーから再生するには

1「Select Speaker」を選び、「GROUP」を選ぶ

2 AllPlay 対応スピーカーをグループに選ぶ

- 本機はモノラルで出力されます。
- 2台以上のスピーカーを組み合わせることにより、それぞれ右チャンネル・左チャンネルに設定し、ステレオで組み合わせることができます。
- 同時に再生できるAllPlay対応スピーカーの数は使用環境によって異なります。
- ひとつの AllPlay 対応スピーカーの電源を切ると、同じグループ内の他の AllPlay 対応スピーカーも再生を停止する場合があります。

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Panasonic ALL2」と表示されます。
- 動画コンテンツを再生する場合、画像と音声が同期しない場合があります。
- 本機の音源を他の AllPlay 対応スピーカーで 8 時間以上再生すると、AllPlay 対応スピーカーは自動的に再生を停止します。(AllPlay 対応スピーカーに関する仕様は予告なく変更される場合があります。)
- アラームが設定されている場合、音源の再生が停止します。(➜ 38)

放送局を記憶させる（インターネットラジオアプリのみ）

本機は「Qualcomm® AllPlay™ Radio powered by TuneIn」に対応しています。再生中のインターネットラジオ放送局を本機に記憶させることができます。（「AllPlay Radio」アプリ対応）

Qualcomm® AllPlay™ Radio powered by TuneIn は、Qualcomm Connected Experiences, Inc. の製品です。

放送局は６チャンネルまで記憶させることができます。

- すでに放送局が記憶されているチャンネルに別の放送局を記憶させると、新しい放送局に上書きされます。

準備する

- 「AllPlay Radio」アプリがインストールされた機器を本機と同じネットワークに接続する（インターネットにつながったネットワークに接続してください）

1 [⏻/I] をタッチし、電源を入れる

- ネットワーク接続ランプ（青）が点灯していることを確認してください。
  - ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください。

2 「AllPlay Radio」アプリを起動し、受信する放送局を選ぶ

- アプリは常に最新バージョンをお使いください。

3 本機の [1] ～ [6] のうち、いずれかひとつを 4 秒以上タッチしたままにし、選択した放送局を記憶させる

例：

[1] に記憶されると、表示窓に「P1」が 3 回点滅表示されます。

■記憶させた放送局を聴く

本機の [1] ～ [6] のうち、いずれかひとつをタッチする

お知らせ

- 選択したチャンネルに放送局が記憶されていない、または本機がネットワークに接続されていない場合は、「no:ch」が表示されます。

Bluetooth® を楽しむ

本機は Bluetooth®（ブルートゥース）技術を使用していますので、スマートフォンなどの Bluetooth® 機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

- Bluetooth® 機器に付属されている説明書などもお読みください。

Bluetooth® メニューで登録・接続する

準備する

- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする
- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください

■機器を登録する

1 **[ ] をタッチする**

- [ ] が速く点滅した場合 ⇨ 手順3へ

2 **登録待機状態にするために、[ ] を 2 秒以上タッチしたままにする**

- [ ] が速く点滅します。

3 **Bluetooth® 機器側で Bluetooth® 接続画面などを開き、機器名「SC-ALL2」を選ぶ**

- 「SC-ALL2」が表示される前に MAC アドレス (例: 6C:5A:B5:B3:1D:0F) が表示される場合があります。
- 本機と機器が接続されると、[ ] が点灯します。

■機器を再生する

1 [ ] をタッチする
- [ ] がゆっくり点滅します。
- [ ] が点灯している場合 ⇨ 手順3へ
  – 他の Bluetooth® 機器がすでに本機に接続されている場合は、接続を解除してください。(➜ 下記)

2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® 接続画面などを開き、機器名「SC-ALL2」を選ぶ

3 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する

■接続を解除する

[ ] を 2 秒以上タッチしたままにする
- [ ] がゆっくり点滅します。

お知らせ
- パスキーの入力を要求された場合は「0000」(ゼロ 4 つ) を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、登録の古いものから上書き登録され、以前の登録が取り消されることがあります。この場合、登録をやり直してください。
- [ ] がゆっくり点滅しているとき、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth® 機器に接続しようとします。自動的に接続されない場合は、一度接続を解除してから接続操作を行ってください。
- 本機を AllPlayやDLNAのスピーカーとして選択すると、音源はネットワークに切り換わります。
- 本機が WPS ボタンや WPS PIN コードで接続待機中のときは、Bluetooth® を音源として選べません。
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 動画コンテンツを再生する場合、画像と音声が同期しない場合があります。

Bluetooth® スタンバイを設定する

この機能は、本機が電源切状態のときに、登録済みの Bluetooth® 機器と接続できるようにします。

- この機能を有効にしているとき、登録済みの Bluetooth® 機器から Bluetooth® 接続すると、自動的に本機の電源が入るようになります。
  – 設定を有効にすると待機時消費電力が増えます。

1 [ ] と [1] を 4 秒以上タッチしたままにする

- 表示窓に現在の設定（お買い上げ時は 「OFF」（無効））が点滅表示されます。

2 [VOL–] または [VOL +] をタッチして「On」を選ぶ

3 [DISP] をタッチして設定を決定する

お知らせ

- Bluetooth® スタンバイを解除するには、手順2で「OFF」を選んでください。

Bluetooth® の通信モードを切り換える

通信の安定性を重視するか音質を重視するかで通信モードを切り換えることができます。

準備する
- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける
- [ ] をタッチする
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする
- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください

1 **[ ] と [2] を 4 秒以上タッチしたままにする**
- 表示窓に現在の設定（お買い上げ時は 「LI: 2」）が点滅表示されます。

2 **[VOL–] または [VOL +] をタッチして設定を変更する**
LI: 1：通信の安定性重視
LI: 2：音質重視

3 **[DISP] をタッチして設定を決定する**

お知らせ
- 音が途切れる場合は、「LI: 1」を選んでください。

Bluetooth® の音量レベルを調整する

本機の音量を大きくしても Bluetooth® の音量レベルが低いと感じる場合、レベル設定を変更してください。

準備する
- 本機と Bluetooth® 機器が接続されているか確認する（➜ 28）

1 [ ] と [3] を 4 秒以上タッチしたままにする
- 表示窓に現在の設定（お買い上げ時は 「In: 0」）が点滅表示されます。

2 [VOL–] または [VOL +] をタッチして設定を変更する

表示窓	Bluetooth® の音量レベル
In: 0	低い
In: 1	
In: 2	高い

3 [DISP] をタッチして設定を決定する

お知らせ
- 音がひずんで聞こえる場合は、「In: 0」を選んでください。

外部機器の音声を聴く

外部機器からの音声を聴くことができます。

準備する
- 外部機器を接続する（➜ 9）
- 本機の電源を入れる

1 **[AUX] をタッチする**
- [AUX] が点灯します。

2 **外部機器で音楽などを再生する**

■外部機器の音声入力レベルを選ぶには

1「AUX」選択中に、[AUX] を 4 秒以上タッチしたままにする
- 表示窓に現在の設定（お買い上げ時は 「In: 0」）が点滅表示されます。

2 [VOL–] または [VOL +] をタッチして設定を変更する
In: 0：ノーマルレベル
In: 1：ハイレベル

3 [DISP] をタッチして設定を決定する

お知らせ
- 「In: 1」を選んだときに音がひずむ場合は、「In: 0」を選んでください。
- 入力信号のレベルを下げるには、外部機器の音量を下げてください。入力信号のレベルが高いと、音がひずむことがあります。
- 詳しくは外部機器の説明書をご覧ください。
- 本機を AllPlayやDLNAのスピーカーとして選択すると、音源はネットワークに切り換わります。
- 本機がWPSボタンやWPS PINコードで接続待機中のときは、AUXを音源として選べません。

ファームウェアを更新する

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。

「Panasonic Music Streaming」アプリ（バージョン 2.0.8 以降）（➜ 20）の画面に表示されるアップデートを促すポップアップからアップデートすることもできます。アプリについて詳しくは下記をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/app

故障の原因になりますのでファームウェアの更新中は絶対に電源コードを抜かないでください。
更新中は「UPd」や「U □□」などの進捗状況が表示されます。（「□」は数字を表しています）
- ファームウェアの更新中は他の操作はできません。

準備する
- 本機をネットワークに接続する（➜ 11）（インターネットにつながったネットワークに接続してください）
- ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください

1 **[NET] を 4 秒以上タッチしたままにする**

2 **[NET] をタッチしたままの状態で、表示窓に「UPd」が点滅表示されたら、[AUX] をタッチする**

更新が完了すると、表示窓に「End」が表示されます。電源プラグを抜いて、1 分以上たってから電源プラグを差し込んでください。

お知らせ
- 更新には数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。
- 最新のファームウェアのときは、表示窓に「no nEEd」と表示されます。

便利な機能

時計を表示する

「Panasonic Music Streaming」アプリ（➜ 20）を使用すると機器から本機に時計情報を配信することができます。

準備する
- 本機をネットワークに接続する（➜ 11）
- 「Panasonic Music Streaming」アプリ （➜ 20）がインストールされた機器を本機と同じネットワークに接続する

1 [⏻/I] をタッチし、電源を入れる
- ネットワーク接続ランプ（青）が点灯していることを確認してください。
  –ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください。

2 「Panasonic Music Streaming」アプリを起動する
- アプリは常に最新バージョンをお使いください。
- 表示窓に時計が表示されます。

時計表示を変更する

時計表示を変更することができます。

■ 12 時間表示に変更するには

[DISP] と [2] を 4 秒以上タッチしたままにする

■ 24 時間表示に変更するには

[DISP] と [1] を 4 秒以上タッチしたままにする

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、24 時間表示です。

表示窓の表示を切り換える

[DISP] をタッチする
[DISP] をタッチするたびに、表示は以下のように切り換わります。

表示なし ⟷ 時計表示 / 「--:--」

- 記憶させた放送局を再生中は、[DISP] をタッチすると現在再生中の放送局を記憶した番号が数秒間表示されます。
  – [DISP] を繰り返しタッチすると、表示は以下のように切り換わります。

表示なし → 再生中の放送局が記憶された番号 → 時計表示 / 「--:--」 → 再生中の放送局が記憶された番号 → 表示なし

ディマー機能

表示窓とネットワーク接続ランプ、タッチキー（[1] ～ [6] 以外）の明るさを変更できます。

1 **[DISP] を 4 秒以上タッチしたままにする**
- 表示窓に現在の設定（お買い上げ時は 「d: 0」）が点滅表示されます。

2 **[VOL–] または [VOL +] をタッチして設定を変更する**

3 **[DISP] をタッチして設定を決定する**

表示窓	明るさ
d: 0 d: 1 d: 2	明るい ↕ 暗い

お知らせ
- 「d: 1」または「d: 2」に設定時でも、操作を行ったときに表示が明るくなる場合があります。

自動的に電源を切る（オートオフ）

無音の状態が 20 分以上続き、その間タッチキー操作などがなかったときは、自動的に電源が切れます。
- お買い上げ時の設定は、「On」（有効）です。

解除するには

1 **[DISP] と [6] を 4 秒以上タッチしたままにする**
- 表示窓に「On」が点滅表示されます。

2 **[VOL–] または [VOL +] をタッチして「OFF」を選ぶ**

3 **[DISP] をタッチして設定を決定する**

お知らせ
- オートオフを有効にするには、上記の手順 2 で「On」を選んでください。
- オートオフは解除しない限り、電源を切／入しても働きます。
- オートオフで電源が切れる約 1 分前に「A_OFF」が表示されます。電源が切れるのを止めるには、いずれかのタッチキーをタッチしてください。
- Bluetooth® 機器を本機と接続している場合、オートオフは働きません。
- ネットワークスタンバイを「On」に設定すると、オートオフは「On」に固定されます。設定を変更する場合は、ネットワークスタンバイを「OFF」に設定してください。（➜ 15）

アラーム（おめざめタイマー）/ おやすみタイマー

「Panasonic Music Streaming」アプリ （➜ 20）を使って、アラーム（おめざめタイマー）/ おやすみタイマーを設定することができます。

「Panasonic Music Streaming」アプリの操作方法や表示などは変更される場合があります。詳細については下記のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/app

- 以下の項目を設定することができます。
  – アラームの 1 ～ 5 をオン / オフする
  – アラームの 1 ～ 5 の設定をする（時間、曜日、アラーム音※）
    ※本機の [1] ～ [6] に記憶したインターネットラジオのチャンネル、ブザー音
  – スヌーズ時間を設定する：オフ、1 分～ 30 分（1 分単位）
  – おやすみタイマーの時間を設定する：オフ、30 分 ～ 120 分（30 分単位）

おやすみタイマー操作

- 電源が切れるまで、1 分ごとに残り時間が表示（スクロール形式）されます。
- 設定した時間になると、本機の電源が切れます。
  – おやすみタイマー設定は記憶されません。

■ アラーム（おめざめタイマー）が動作しているときは

タッチキー（[1] ～ [6] 以外）が速く点滅します。

アラームを切るには

- **スヌーズが設定されていないときは：**
  アラームを切るには、本機のいずれかのタッチキーをタッチしてください。

- **スヌーズが設定されているときは：**
  – スヌーズモードにするには、本機のいずれかのタッチキーをタッチしてください。
  タッチキー（[1] ～ [6] 以外）がゆっくり点滅します。
  – アラームを切るには、スヌーズモード中に[🕘]※1または[⏻/I]※2をタッチしてください。

※1: [🕘] をタッチしてアラームを切る場合、本機の電源は切れた状態になります。
※2: [⏻/I] をタッチしてアラームを切る場合、本機の電源は入の状態になります。

お知らせ

- アラームが設定されている場合、[🕘] が点灯します。
- 現在のアラームが切れて、他にアラームが設定されていない場合、[🕘] は消灯します。(他のアラームが設定されている場合、[🕘] は点灯します)
- アラーム実行中にタッチキー操作を行わなかった場合、アラームは約 1 時間後に切れます。
- インターネットラジオでのアラームが設定されている場合、アラームの再生状況は接続環境によって変わります。

操作音を設定する

本機のタッチキー操作時に操作音が鳴ります。
- お買い上げ時の設定は、「On」（有効）です。

■解除するには

[DISP] と [VOL−] を 4 秒以上タッチしたままにする
- 表示窓に「OFF」が表示されます。

お知らせ
- 機能を有効にする場合、上記と同じ操作を行ってください。
  −表示窓に「On」が表示されます。

ネットワーク接続の信号レベルを確認する

本機をネットワークに接続したあと、接続状態の安定度を確認することができます。

[NET] と [3] を 4 秒以上タッチしたままにする

表示窓	信号レベル
L:0	弱い
L:1	
L:2	
L:3	強い

お知らせ
- ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください。
- ネットワーク接続の信号レベルが確認できない場合、本機を AllPlay や DLNA のスピーカー選択から解除して、再度確認してください。

割り当てられた IP/MAC アドレスを確認する

ルーターに接続後、本機に割り当てられた IP/MAC アドレスを確かめることができます。

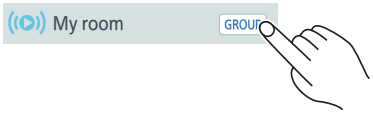
準備する
- 本機をネットワークに接続する（➜ 11）
- 「Panasonic Music Streaming」アプリ （➜ 20）がインストールされた機器を本機と同じネットワークに接続する

1 「Panasonic Music Streaming」アプリを起動する

2 「Select Speaker」を選ぶ

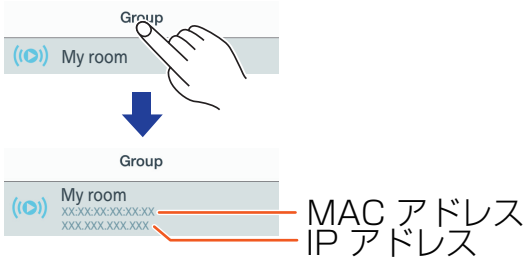
3 「GROUP」を選ぶ

例：



4 タイトルバーの「Group」をタッチしたままにする

例：



お知らせ
- 本機の名前を設定していない場合、「Panasonic ALL2」と表示されます。
- ネットワーク接続ランプが青色と赤色の交互に点滅している場合、点滅が止まるまでお待ちください。

故障かな !?

故障かな !? と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について
- 長時間使用すると、本機が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

ファームウェアを更新していますか？
- 本機の動作を改善するために、ファームウェアは必要に応じて更新されています。（➜ 33）

サポート情報の詳細については下記のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

共通

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには
- ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻すには、ネットワークリセットを行ってください。（➜ 15）

① [⏻/I] をタッチし、電源を入れる

② [⏻/I] を 4 秒以上タッチしたままにする

表示窓

— 点滅

③ [⏻/I] をタッチしたままの状態で、[NET] をタッチする
- お買い上げ時の状態に戻している間は「--:--」が表示されます。（タッチキー（[1] ～ [6] 以外）が 4 回点滅します）

電源が切れます。
- 「-- --」が表示されると、お買い上げ時の設定に戻ります。

電源が入らない

- 電源コードを接続したあとは、10 秒ほど待ってから電源を入れてください。

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。

AUX 入力端子からの音声がひずんでいる

- 入力信号のレベルが高いと音声がひずみます。接続機器の音量を下げてください。

ネットワーク接続ランプが青と赤で点滅したままになっている

- 本機の修理が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

取扱説明書に記載されているように本機が動作しない

- 本機のファームウェアを更新してください。（➜ 33）

Bluetooth®

Bluetooth® 機器が登録できない

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。

Bluetooth® 機器と無線接続されない

- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。（➜ 27）
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器との接続を解除して、登録をし直してください。

Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- お使いのBluetooth®機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器に付属されている説明書などをお読みください。

接続が解除される
音が途切れる / 雑音がする

- 本機と Bluetooth® 機器間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 他の 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器 (無線ルーター、電子レンジ、コードレス電話機など）が電波干渉している可能性があります。Bluetooth® 機器と本機を近づけ、他の干渉機器を遠ざけてください。
- 本機の通信モードを「LI: 1」に設定してみてください。（➜ 30）

上記の操作を行っても問題が解決しない場合、本機と Bluetooth® 機器を再度接続し直してください。（➜ 28、「機器を再生する」）

ファームウェア更新

表示窓に「FAIL」が表示される

- ファームウェアの更新に失敗しました。いずれかのタッチキーをタッチしたあと、ファームウェアの更新をやり直してください。
- LAN ケーブルをお使いのときは、電源コードを抜いた状態で LAN ケーブルを接続してください。（➜ 18）

ネットワーク

ネットワークに接続できない

- 本機は WPA2™ の Wi-Fi セキュリティー方式に対応しています。本機をネットワーク接続する際は、WPA2™ に対応している無線ブロードバンドルーターをお使いください。ルーターが対応するセキュリティー方式や、設定の変更についてはルーターの説明書をご覧になるか、インターネットサービス業者にお問い合わせください。
- 無線 LAN 接続ができない場合は、有線 LAN 接続をしてください。（➜ 18）
- ルーターの設定でマルチキャストを有効にしてください。
- ルーターによっては WPS ボタンで接続できない場合があります。他の接続方法をお試しください。（➜ 11）

本機を接続機器のスピーカーに設定できない

- 接続機器が本機と同じネットワークに接続されているか確認してください。
- 接続機器をネットワークに接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。

再生が始まらない
音が途切れる

- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と機器を離してお使いください。
  – お使いの無線ブロードバンドルーターが 5 GHz 帯の電波に対応している場合、5 GHz 帯の電波での接続をお試しください。
  5 GHz 帯に変更するには、ネットワークリセットを行って（➜ 15）、インターネットブラウザを使う接続をやり直してください。（➜ 12）
  手順 6 で 5 GHz 帯の電波のネットワーク名 (SSID) を選んでください。
- 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところに本機を置かないでください。
- 本機とルーターを近づけてご使用ください。
- 複数の無線機器がルーターに接続されているときは、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器のご使用を控えてください。
- 接続機器をネットワークに接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- 有線 LAN 接続を行ってください。（➜ 18）

こんな表示が出たら

表示窓にメッセージや数値が表示された時は、以下をご確認ください。

F□□ / F□□□（「□」は数字を表しています）

- 本機に異常が発生しました。
  電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

FAIL

- アップデートや設定に失敗しました。取扱説明書を確認し、設定をやり直してください。

仕様

■総合

電源	AC100 V、 50/60 Hz
消費電力	18 W
電源切 （スタンバイ）時の消費電力 (Bluetooth® スタンバイを「OFF」に設定時)※1、※2	約 0.25 W
(Bluetooth® スタンバイを「On」に設定時)※1、※2	約 0.3 W
(ネットワークスタンバイ有効時)	約 3 W

寸法（幅 × 高さ × 奥行）	120 mm×180 mm×135 mm
質量	約 1.5 kg
許容動作温度	0 °C ～ +40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

■端子部

イーサネットインターフェース	LAN (10BASE-T/100BASE-TX)
外部入力端子（AUX IN）	ステレオミニ （3.5 mm）

■ Bluetooth® 部

バージョン	Bluetooth® Ver.2.1 +EDR
送信出力	Class 2
対応プロファイル	A2DP
接続周波数	2.4 GHz band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m

■ Wi-Fi 部

Wi-Fi

ワイヤレス LAN 規格	IEEE802.11a/b/g/n
周波数範囲	2.4 GHz 帯 / 5 GHz 帯
セキュア方式	WPA2™
WPS version	Version 2.0

対応フォーマット (AllPlay)

MP3/AAC	
サンプリング周波数	32/44.1/48 kHz
量子化ビット数	16 bits
チャンネル数	2 ch
FLAC※3/ALAC/WAV	
サンプリング周波数	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数	16 bits/24 bits
チャンネル数	2 ch

対応フォーマット (DLNA)

MP3	
サンプリング周波数	32/44.1/48 kHz
量子化ビット数	16 bits
チャンネル数	2 ch
FLAC※3/WAV	
サンプリング周波数	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
量子化ビット数	16 bits/24 bits
チャンネル数	2 ch

■ ワイヤレス部

ワイヤレスモジュール

周波数帯域	2.4034 GHz ～ 2.47735 GHz
チャンネル数	38

■ アンプ部

実用最大出力

40 W（JEITA）
4 Ω、1 kHz、全高調波ひずみ率 10 %

■ スピーカー部

スピーカーユニット

フルレンジ	8 cm コーン型 × 1
インピーダンス	4 Ω

お知らせ

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※1: ネットワークスタンバイが働いていない場合
※2: 表示窓が消灯している場合
※3: 非圧縮 FLAC ファイルの場合は、正しく動作しないことがあります。

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、® マークは一部記載していません。

Qualcomm は、米国およびその他の国で登録されている Qualcomm Incorporated の商標であり、許可を得て使用しています。
AllPlay は、Qualcomm Connected Experiences, Inc. の商標であり、許可を得て使用しています。
TuneIn は、米国およびその他の国で登録されている TuneIn Inc. の商標であり、許可を得て使用しています。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Google Play、Android は Google Inc. の商標です。

DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

“Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
“Wi-Fi®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。“Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPLV2.0) に基づきラインセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2. 1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
上記 (３) ～ (５) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、以下のウェブサイトに表示されるライセンス条件をご参照ください。
http://panasonic.jp/support/global/cs/audio/oss/all8_3_1c.html
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
問い合わせ窓口 :
oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com
また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://panasonic.net/avc/oss/

FLAC Decoder
Copyright (C)
2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
– Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
– Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
– Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

さくいん

英・数字

AllPlay ..... 11、19、20、21、23、24、25
AllPlay Radio 26
AUX 32
Bluetooth® 27
DLNA ..... 11、19、20
IP アドレス 41
MAC アドレス 41
SSID 12

あ行

アラーム 38
　おめざめタイマー 38
インターネットラジオ 26
オートオフ 37
おめざめタイマー 38
おやすみタイマー 38

か行

聴く
　AllPlay 20
　Bluetooth® 27
　DLNA 20
　インターネットラジオ 26
　外部機器 32
工場出荷設定 42

さ行

スヌーズ ..... 38、39
スピーカー 10

た行

タイマー 38
　おめざめタイマー 38
　おやすみタイマー 38
時計 ..... 34、35

な行

ネットワークスタンバイ 15
ネットワーク接続ランプ 7
ネットワーク設定 19
ネットワークの接続 11
ネットワークリセット 15

は行

表示窓 7
ファームウェアの更新 33

パナソニック株式会社
ホームエンターテインメント事業部
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2015

RQT0A26-2S
F0615HA3105